

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ふうせん (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日 ~ 令和8年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日 ~ 令和8年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月14日			

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境整備など整っており、生活空間が子供の活動に合わせた空間となっている。	活動内容や児童の状況に応じて、場所や部屋を変更している。 活動内容に応じて机の位置など変更し、学習と余暇の区別を明確にしている。	活動時の「うるさくて集中できない」といった状況やクールダウン時に、個別の部屋や食堂への移動をより計画的に行い、静かな環境を確保する。
2	支援計画の見直しがされている。 子供の状況に応じて、個別活動・集団活動が適宜組み合わせられている。	児童の興味や状態を職員間で常に共有し、その日の状況に合わせた最適な活動(個別・集団)を選択・実施している。	活動の様子については、日々の連絡帳やブログを通じて発信し、保護者が活動内容を把握しやすいよう努める。
3	子どもや保護者からの相談対応に体制整備を行っており、申し入れがあった際は迅速に対応している。	送迎時や、受け渡しなどの時に家庭の状況などもよく聞けるようにしている。	保護者参加イベントや茶話会において、単なる親睦にとどまらず、情報交換など内容のさらなる充実を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や地域と子供たちの交流がない。	交流が持てるイベントの参加や事業所での行事が少ないため	近隣の公園での活動を増やすだけでなく、児童館等の催しをリサーチし、地域の行事などにも参加できればいい。
2	職員間での会議が思うようにできていない。	直接支援業務が優先されるため、全職員が集まって協議する時間の確保が難しい。	毎月の会議をあらかじめスケジュールに組み込み、優先順位を明確にして確実に実施します。
3			